

| | | | |
|-----|-----|----------------|-----------------------------|
| 教 科 | 家 庭 | 科 目 (講座名) | 子どもの発達と保育 (子どもの発達と保育甲) |
|-----|-----|----------------|-----------------------------|

| 対象年次 | 期 間 | 単位数 | 授業形態 | 必修／選択 |
|--|--|-----|--|--|
| 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 3年 4年 | 前期 後期 <input checked="" type="checkbox"/> 通年 | 2 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 | 必ず履修しなければならない科目 選択して履修しなければならない科目群の中の一科目 <input type="checkbox"/> 履修するか、しないかを選択できる科目 |

| | |
|-------|----|
| 履修の条件 | なし |
|-------|----|

| | | |
|---------|---|---|
| 科目のねらい | 乳幼児の発達の特徴（胎児期を含め）については、乳幼児期が人間の発達の基礎を担う時期であることから、この時期の重要性を理解させる。さらに乳幼児の生活と保育に関する知識と技術を習得させ、子どもの健全な成長を図る能力と実践的な態度を育てることを目標とする。（特に甲では胎児期・乳児期・幼児期前半のことを中心に学ぶ） | |
| 指導の方法 | 講義が中心であるが、適宜保育に関する実習（乳幼児食の調理、児童文化財の製作、乳幼児の衣服製作）や視聴覚教材を用いて、実践的な態度・技術が身につくように授業を進める。 | |
| おもな学習内容 | <p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 子どもの発達の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・発達と乳幼児期の意義 ・発達と保育環境 ・児童観と発達観 * 子どもの発達の過程 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発育 ・子どもの精神発達 ・人間関係の発達 * 妊婦体験、乳児の衣服制作等の実習 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 子どもの生活 <ul style="list-style-type: none"> ・生活と養護 ・子どもの遊び ・生活習慣の形成 ・健康管理と事故防止 * 離乳食、幼児食の実習 * 児童文化財の制作実習 | <p>評価のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> * 実習・授業への参加の仕方や態度（関心・意欲・態度）によって評価します。 * 実習後のレポートからも評価します。（思考・判断・表現） * 実習時の技術・技能も評価します。 * 年間4回考査を実施（知識・理解） |

| | |
|----------|--|
| 使用教科書・教材 | 実教出版 子どもの発達と保育 実教出版 新課程 子どもの発達と保育 学習ノート |
| 準備物、費用等 | 【費用】 実習費として約4000円 |